

都市再生整備計画 事後評価シート  
岩村田西地区

平成24年3月

長野県佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	佐久市		地区名	岩村田西地区			面積	124.1ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	2,099百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		【道路】:近津砂田線・近津住吉線・市道S11-1号線										
	提案事業		【地域創造支援事業】:高等教育施設整備事業(佐久大学)										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	基幹事業		【高次都市施設】:文化会館建設事業			「佐久市総合文化会館の建設の賛否を問う住民投票(H22.11実施)」による住民投票結果を尊重し、整備中止と決定したため削除。			「文化会館の利用者数」増加を見込んだ目標を設定したが、整備中止により達成が見込めなくなったため指標を削除した。				
	提案事業		【地域創造支援事業】:樋橋まちづくり計画策定、近津まちづくり推進、近津地区計画策定			総合計画及び国土利用計画佐久市計画の見直し作業中であるため、基本構想に即した計画を策定することが困難であり、また、地区計画の策定については直営で実施したため削除。			目標や数値指標には特に影響なし				
新たに追加した事業		基幹事業			【道路】:市道S1-43号線・市道S1-90号線・市道S1-90-2号線・市道S1-94号線・市道S1-90-3号線・市道S1-94-2号線・市道S1-92号線・市道S15-1号線			【道路】:(都)近津砂田線沿線整備関連事業「近津土地区画整理事業」施行区域内の道路整備を行うため。また、市道S15-1号線は、佐久中佐都の西側からのアクセス向上のために追加。 【公園】:(都)近津砂田線沿線整備関連事業「近津土地区画整理事業」施行区域内の公園整備を行うために追加。			若者の定住化の目標や数値目標にプラス要因として影響すると見込まれるが、目標及び数値目標は据え置いた。		
提案事業		【事業活用調査】:事業効果分析業務			当該事業による整備効果を適正に把握、検証するために追加			事業効果検証を目的としているため特に影響なし					
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
変更		-		-			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	自動車交通量配分台数	台/12h	16,300	H11	7,000	H23		10,493	△	あり なし	国道141号や中部横断自動車道整備など広域幹線の整備により交通量が減少したが、近津砂田線及び近津住吉線が現在整備中(平成24年8月供用予定)のため供用後に達成見込み。	平成25年10月
	指標2	自動車交通量台数	台/12h	270	H18	500	H23		1,093	○	あり なし	近隣地域の佐久中佐都インター及び佐久市街地へのアクセス道路として機能し、自動車・歩行者通行上の安全性・快適性が向上した。	-
	指標3	若者の定住化	人	20,350	H18	20,500	H23		20,114	×	あり なし	佐久大学の開校等により生徒や関係職員の増加など若者の定住化は進んでいるが、目標達成には至らなかった。	平成25年10月
指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	佐久平駅の乗車人員(1日平均)	人	2,769	H18		2,664					道路整備や土地区画整理事業等により、市民のほか、多くの来訪者が訪れ地域が活性化しつつある。	平成25年10月
その他の数値指標2	一次避難場所として利用できる公園数	箇所	2	H18		4					近津地区は住宅が密集し、農地以外のオープンスペースが無く佐久平駅周辺の公園が最も近かったが、土地区画整理事業地内に1号公園及び2号公園が整備され、安全・安心な居住環境として向上した。	平成25年10月	
4)定性的な効果発現状況	中部横断自動車道の部分供用や新幹線佐久平駅近郊の市街化整備が進みつつあり、自動車交通の分散化及び集落内街区への流入緩和に効果が現れている。佐久大学の開校や商業施設の充実が進み宅地需要が高く、若者の定住化が進んでいるが、近年の経済不安等の影響から目標設定時より伸び率は鈍化している。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					
	住民参加プロセス	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					
	持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					



## 様式2-2 地区の概要

### 岩村田西地区(長野県佐久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<b>&lt;&lt;目標&gt;&gt;</b> 広域交流を促進する高速交通の特性を活かした快適、安心のまちづくり	1. 自動車交通量配分台数	単位:台/12h 16,300	H11 7,000	H23 10,493
<b>&lt;&lt;基本方針&gt;&gt;</b> ①中部横断自動車道中佐都IC(仮称)、北陸新幹線佐久平駅及び佐久平駅周辺商業核がネットワークされるまちづくり ②佐久平駅や中佐都IC(仮称)へのアクセス道路の改善・整備により利便性の向上と交通安全性の高まる安心のまちづくり ③佐久平駅周辺地区の都市機能・交通利便性が充実・強化され、広域交流が促進することにより文化・人材が集い、また定着し新たな文化の発信や、地域を支える人を育むまちづくり	2. 自動車交通量台数	単位:台/12h 270	H18 500	H23 1,093
	3. 若者の定住化	単位:人 20,350	H18 20,500	H23 20,114

**■道路事業**  
市道S11-1号線

**■道路事業**  
市道S15-1号線

**■基幹事業**  
道路事業  
近津砂田線  
近津住吉線  
S1-43号線  
S1-90号線  
S1-90-2号線  
S1-94号線  
S1-90-3号線  
S1-94-2号線  
S1-92号線  
公園事業

**○関連事業**  
中部横断自動車道建設事業  
県道塩田佐久線改良事業  
近津地区土地区画整理事業

**■基幹事業**  
道路事業  
市道S11-1号線

**□提案事業**  
地域創造支援事業  
高等教育施設整備事業

**□提案事業**  
事業活用調査

**■地域創造支援事業**  
高等教育施設整備事業(佐久大学)

**■関連事業**  
中部横断自動車道建設事業

<b>まちの課題の変化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(都)近津砂田線、(都)近津住吉線の整備により小諸市方面と佐久平駅周辺地区を結ぶ道路が完成し、自動車交通量の分散が期待されている。</li> <li>○(都)近津砂田線沿線に新設小学校の建設が新たに計画され、完成供用後の交通安全対策が求められている。</li> <li>○近津地区土地区画整理事業を通じて、長土呂周辺の土地利用の整然化が期待されその動向を注視する。</li> <li>○中部横断自動車道佐久中佐都IC付近の安全性が向上したが、インター入口が分かりにくいと改善が求められている。</li> <li>○佐久大学(看護系4年生大学)が開校して年々入学者が増え、近隣地域の若者定住が定着しつつあるが、卒業後、市外への流出を抑制する仕組みが必要である。</li> </ul>
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆良好で健全な市街地を形成するため、近津地区では地区計画等を活用し適正な土地利用の誘導に努めていく。</li> <li>◆(都)近津砂田線、(都)近津住吉線の整備と近津地区土地区画整理事業は密接に繋がっており、これらの計画的な事業実施とその後の経過を注視していく。</li> <li>◆(都)近津砂田線の交通量と建設中の小学校周辺の交通安全対策を講じていく。</li> <li>◆中部横断自動車道のIC周辺の道路改善や土地利用計画を策定し今後とも適正な土地利用を誘導していく。</li> <li>◆市道S11-1号線から西側先線の整備と佐久中佐都インターアクセスの適正誘導を講じていく。</li> <li>◆区画整理事業地への定住PRや佐久総合病院佐久医療センター整備支援を通じて、市内の雇用創出に努める。</li> </ul>